

## 基本目標 5 活力のあるまちづくり

### 後期計画の方向性

農地や森林、河川などを保全するとともに、人の流れを活かした地域内経済循環の輪を拡大させ、暮らしに必要な産業を維持・活性化できる町



東栄町に遊びに行ったら、手作りコスメ体験をしてみたいな。それから、登山で汗を流した後は温泉。次は、ホテルが舞う川を眺めながら季節の素材を使った食事。夜は星空観察。なんだか心も体もキレイになるね。これをビューティーツーリズムっていうんだって。

こんなふうに町を楽しむストーリーづくりに、あなたも参加してみませんか？

町の資源をテーマにして、みんなでつながろう。みんな豊かになろう。



現状と課題

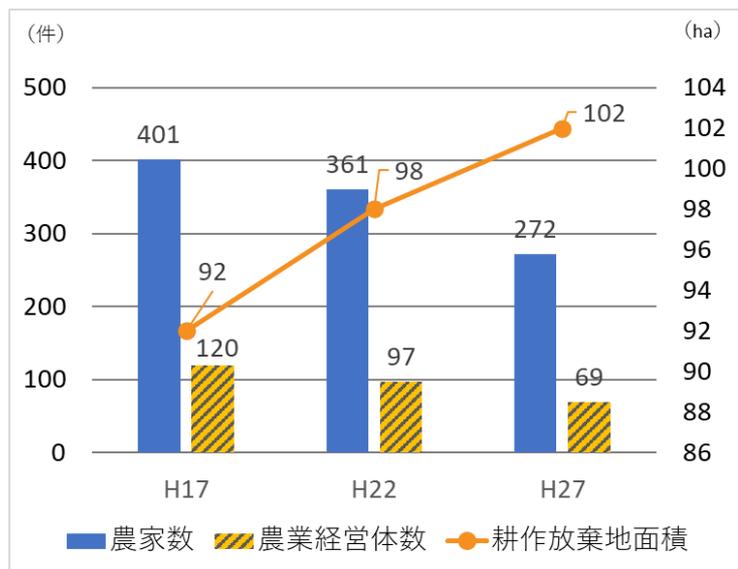
【現状】

- ・東栄町の農業は大きく耕種農業と養鶏業に分かれており、耕種農家では農地が点在する地形的特徴もあり自家消費が主となっています。こうした中で過疎化や高齢化により農業従事者は減少し、後継者不足が年々厳しい状況となっています。また、それに追い打ちをかけるようにイノシシやシカ、サルなどの有害鳥獣による農作物等の被害も深刻であり、生産意欲の減退を招き、耕作していない遊休農地の増加による農地の荒廃や転用による農地の減少につながっています。

【課題】

- ・高齢化や過疎化により農業従事者、後継者が減少しています。
- ・イノシシやシカ、サルなどの有害鳥獣による農作物等の被害があります。
- ・遊休農地の増加による農地の荒廃や転用による農地の減少があります。
- ・農業施設が老朽化してきています。

■ 図表 農家、農業経営体数、耕作放棄地面積の状況



【資料：経済課】

施策がめざす  
将来の姿

- 現在使われている農地が引き続き活用されています。
- 安定した農業生産が行われ、担い手が育成されています。
- 農地の利活用や担い手の確保により、荒廃が防止され、農地機能と景観が保全されています。

## 目標値

施策の目標指標	現状値		目標値
	2014 (平成26)年度	2019 (令和元)年度	2025 (令和7)年度
新規農地取得面積累計 (ha)	0	6.1	10.0

## 個別施策

### 1 農用地の保全

引き続き、地域が共同で行う農道の草刈り、用水路の清掃などの農業施設の維持管理を推進するため、国・県の補助金を有効活用し、多面的機能を有する農用地の計画的な保全に取り組みます。また、地域等を中心に、外部人材等も活用しながら、地域ぐるみで行う遊休農地の再生活動を推進します。

あわせて、遊休農地になることを防ぐため、鳥獣害防止柵や電撃柵、ワナなどへの対策支援により、鳥獣害による農作物への被害を減らし営農意欲を高めます。

同時に、遊休農地等の情報把握に努め、今後の農地管理の意向調査を行い、新規就農者などへ貸出可能な農地情報を提供します。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成26年度)	(令和元年度)	(令和7年度)
中山間地域等直接支払、多面的機能支払交付金取組集落数	8	8	7

具体的な事業の例	主体
中山間地域等直接支払交付金事業、多面的機能支払交付金事業を活用した取組	町・取組集落
鳥獣害防止柵、電撃柵の設置	町・農業者
農地情報の収集・提供	町・農業委員会

## 2 農業後継者・担い手の育成支援

農地の保全と農業経営の安定化のため、意欲のある農業者等へ農地の集積を図ります。

農業後継者をはじめ、新規就農者を育成するため、農業研修、農地の確保、生産技術の指導、経営指導、設備投資の補助など、就農から定着までの総合的な支援等について関係機関との連携を図ります。

町の基幹産業のひとつである養鶏業について、養鶏農家をはじめ畜産クラスター協議会と連携し、生産量の増大や鶏ふんの有効活用による地域の収益性の向上を図る取り組みを行います。

また、担い手育成の観点から食育活動を推進し、学校給食等における地元農産物の利用促進を図ります。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
新規就農者数（累計）（人）	1	4	6

具体的な事業の例	主体
農業次世代人材投資事業の活用	県・町・農業者
畜産クラスター事業における堆肥の有効活用検討	畜産クラスター協議会

## 3 農業を通じた経済循環の拡大

担い手不足により、農産物の販売や農業体験等の事業に取り組む人や団体は多くありません。しかし、東栄町で生産される農産物や、農産物の摘み取り等の体験事業は、町への来訪や消費につながる貴重な地域資源です。今後もこうした地域資源の活用により、交流を促進し、農業を活用した経済循環の輪を広げます。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
農林業体験イベント等に取り組む団体数（団体）	4	6	6

具体的な事業の例	主体
農業等を活用した体験イベントや交流事業の実施	取組団体

## 4 舗装・側溝・かんがい排水等の農業施設の維持管理

老朽化する舗装・側溝・かんがい排水などの農業施設については、長寿命化を図るため、計画的に修繕や改修を行います。なお、修繕等を行う計画については、農業者等を中心に組織される管理組合等からの要望等を踏まえ、毎年度見直しを行います。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
改修路線数（累計）（路線）	5	23	30

具体的な事業の例	主体
かんがい排水整備事業の実施	管理組合・町
農道整備事業の実施	

### 関係する計画等

- 東栄町山村振興計画
- 農業振興地域整備計画



## 現状と課題

### 【現状】

- ・「あいち森と緑づくり事業」や「豊川水源基金事業」、「森林環境譲与税」を利用した間伐・下刈・枝打などの森林管理の推進により、人工林の荒廃は解消されつつありますが、材価の長期低迷や林業の採算性の悪化により放置された森林が増加しています。
- ・鳥獣害による林産物や農産物の被害も増加の傾向にあり、有害鳥獣の捕獲数も増加しています。また、ヤマビルの発生により、農林業の施業にも支障を来しています。

### 【課題】

- ・新たな森林を支える仕組みが創設され、私有林整備の加速化に対応した林業従事者の確保が急務です。
- ・林道の受益者で構成する地元推進会は高齢化により、会の運営そのものが難しくなっています。
- ・林道施設(舗装・側溝・橋・法面等)の老朽化が進んでおり、改修する必要があります。

## 施策がめざす 将来の姿

- 林業従事者が確保されています。
- 森林環境譲与税などの財源活用により森林整備が進み、森林の機能が保全されています。

## 目標値

施策の目標指標	現状値		目標値
	2014 (平成26)年度	2019 (令和元)年度	2025 (令和7)年度
新規林業就業者数(累計)(人)	2	4	6

## 個別施策

### 1 林業従事者の確保・育成

将来にわたって森林の保全や整備を行うためには、長期的な視野に立った人材確保と育成が重要です。

町の林業の中核的な役割を担う森林組合は、新規林業就業者の受け入れや、日ごろの業務や作業を通じて、林業人材の育成をしている組織でもあります。今後も技術向上研修等を通じて、次世代につながる林業従事者の確保育成ができるよう、町は各種補助事業などを活用しながら支援します。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
新規林業就業者数（累計）（人）	2	4	6

具体的な事業の例	主体
林業就業者の確保及び育成	森林組合
森林組合への支援及び助成	町

### 2 森林組合の経営強化

今後、森林の持つ多様な機能を十分に発揮させた森林整備を進めるには、森林経営計画が必要です。計画に基づいた効率的な森林施業のための取組体制の構築や、進捗管理が欠かせません。そのためには、町の林業の中核的な役割を担う森林組合において森林施業プランナー等の育成に取り組み、経営基盤の強化を図ります。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
森林施業プランナー（累計）（人）	2	2	4

具体的な事業の例	主体
森林施業プランナーの育成	森林組合
各種補助事業を通じた支援	町

### 3 間伐材の利用促進

森林管理のため、必要な間伐を進めていく必要があります。間伐により搬出された間伐材の有効利用・利用促進を図ることによって、間伐材の付加価値を高めるとともに、山林に放置された残材の有効利用に取り組みます。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成 26 年度)	(令和元年度)	(令和 7 年度)
間伐材の利用量 (木の駅等再利用) (t)	190	76.9	110.0

具体的な事業の例	主体
間伐材の自主搬入活動	木の駅実行委員会
里山林環境整備補助事業の継続	町

### 4 木材流通の改善

木材搬出や間伐材の利用、木材新規市場の開拓支援、三河材としてのブランド化に取り組みます。あわせて、住宅や公共施設等における木材需要の向上などを図り、木材流通の改善を図ります。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成 26 年度)	(令和元年度)	(令和 7 年度)
木材生産販売量 (m <sup>3</sup> )	3,331	4,559	5,014

具体的な事業の例	主体
木の駅プロジェクト事業の実施	木の駅実行委員会
「とうえいの木」を活用した住宅建設への補助金	町

## 5 鳥獣害対策の充実

野生鳥獣による農林産物の被害を減らすための電撃柵設置の支援などを行うとともに、集落周辺の皆伐を行い里山環境を改善するなど、野生鳥獣と共存できる環境を整備します。

また、シカやイノシシにより生息数が拡大したヤマビルによる被害抑制への取組を進めます。有害鳥獣を駆除する猟師の高齢化や新たな担い手が不足しているため、確保に向けた取組もあわせて進めます。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
有害鳥獣捕獲数（頭）	535	711	650

具体的な事業の例	主体
鳥獣害防止柵、電撃柵等の設置	町・町民
集落周辺等の皆伐の実施	町・所有者

## 6 林道施設の整備

森林整備などを円滑に行うため、新たな林道の開設を行うとともに、既存林道の点検を実施し、結果に基づいてトンネル・橋・舗装・法面などの改修工事を実施します。

林道施設における修繕計画を策定し、林業施業に影響を与えないよう修繕を実施することが急務です。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
開設・改修路線数（累計）（路線）	11	46	70

具体的な事業の例	主体
開設・改良・舗装などの林道整備事業の実施	町・県
林道施設点検及び修繕の実施	

### 関係する計画等

- 東栄町森づくり基本計画
- 東栄町森林整備計画
- 林道施設個別施設計画
- 東栄町山村振興計画

現状と課題

【現状】

- ・平成29年に「清流めぐり利き鮎会」で振草川の鮎がグランプリを獲得し、日本一の鮎となりました。これを契機に、釣り人から鮎を買い取り、販売する「鮎の買い取り制度」を始めました。こうした事業の収益などによって、振草川漁業協同組合（以下「振草川漁協」という。）が中心となり、引き続き河川環境の維持管理をしています。
- ・グランプリを受賞したことにより、町内飲食店で提供される鮎料理を食べに町外から訪れる観光客も現れ、鮎は町を代表する地域資源となっており、「振草川鮎」のブランド化などへの新たな取組も始まっています。

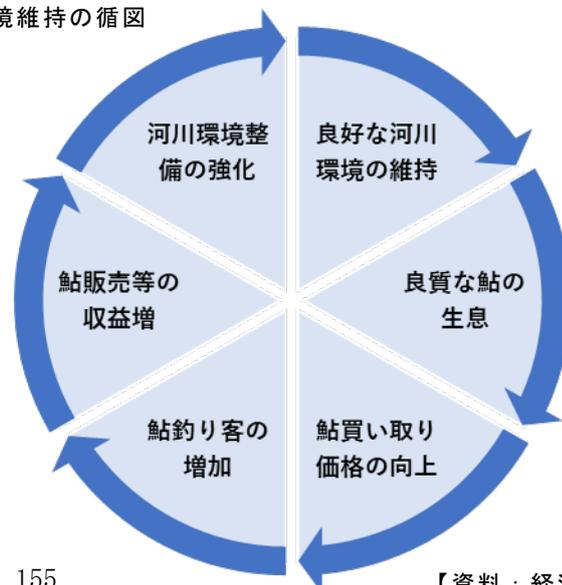
【課題】

- ・振草川漁協が毎年鮎の放流を行っていますが、冷水病対策やカワウの食害、天候不良などの原因によって、鮎が不漁となっています。
- ・鮎の不漁による釣り人の減少は、翌年度以降実施する事業の財源確保にも大きく影響します。

施策がめざす  
将来の姿

- 多くの釣り客が来町し、良い釣果が出ています。
- 振草川鮎のブランド力が向上し、鮎の買取、販売、鮎料理の提供等により地域の中で利益が出ています。
- 引き続き河川環境が維持されています。

■図表 漁業を通じた地域内経済及び河川環境維持の循環



## 目標値

施策の目標指標	現状値		目標値
	2014 (平成26)年度	2019 (令和元)年度	2025 (令和7)年度
年間釣り客数(人)	—	2,147	3,000

## 個別施策

### 1 鮎釣り客の増加

釣りの解禁から長期間にわたり、釣り客が来町する河川環境づくりに取り組みます。そのため、冷水病にかかりにくく、釣果の出る稚鮎の種苗を放流します。また、放流時期や種苗の検討、カワウ対策を継続して行います。

重要業績指標(KPI)	現状値		目標値
	(平成26年度)	(令和元年度)	(令和7年度)
稚鮎放流量(t)	2	2	2

具体的な事業の例	主体
稚鮎放流量の維持	振草川漁協・町

### 2 振草川鮎を活用した地域内経済循環

釣り客から買い取り販売する、鮎の買い取り制度に引き続き取り組みます。あわせて、高値での鮎の買取及び販売ができるようにするため、「振草川鮎」ブランドの磨き上げと定着を図ります。

また、鮎を活用した町内飲食店などへの誘客促進につなげるため、関係者で連携を図ります。

重要業績指標(KPI)	現状値		目標値
	(平成26年度)	(令和元年度)	(令和7年度)
鮎の年間販売金額(千円)	—	1,600	2,500

具体的な事業の例	主体
振草川鮎や活用飲食店等のPR	振草川漁協・町内飲食店・ 観光まちづくり協会・町

### 3 河川環境の保全

「振草川鮎」が生息する河川環境をみんなで守ります。鮎をはじめとする水生生物の成育や水害対策等を図るため、河川周辺の雑木の撤去等の維持管理を振草川漁協と連携し、ボランティアとともに進めます。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成 26 年度)	(令和元年度)	(令和 7 年度)
協働による河川整備活動の実施	実施	実施	実施

具体的な事業の例	主体
協働による河川整備活動の実施	漁協・町・ボランティア

私たちにできること ～Are you beautiful? 中学生の取組から～

令和 2 年 9 月、中学生全生徒による振草川の河川清掃が行われました。これは、平成 29 年度に「清流めぐり利き鮎会」で日本一となった鮎の生息地である振草川の環境を守ることを目的に、生徒会の発案で行われたものです。

グランプリ受賞に至るまでの取組や鮎釣りを通じて河川環境を守ることの重要性について鮎釣り同好会の方からお話を聞いた後、中学生は 3 か所に分かれ河川周辺の草むらや通路などに捨てられたゴミ等を集めました。

- ・川遊びをした後のゴミなどが、想像以上に多く悲しかった。
- ・「日本一の鮎」が住む、私たちのふるさとの川を大切にしたい。
- ・これからも河川清掃に協力していきたい。

これらの感想からは、地域を大切にする思いや誇りとともに、「私に何ができるだろうか」という視点を、中学生が持っていることが分かりました。

将来にわたって暮らし続けられるまちづくりを進めていくための大きな力であり、未来をともに創る頼もしい存在です。

#### 関係する計画等

- 振草川再生計画
- 東栄町山村振興計画

基本施策

## 4 商工業

重点  
1(4)

重点  
2(2)

戦略  
②

戦略  
⑤



### 現状と課題

#### 【現状】

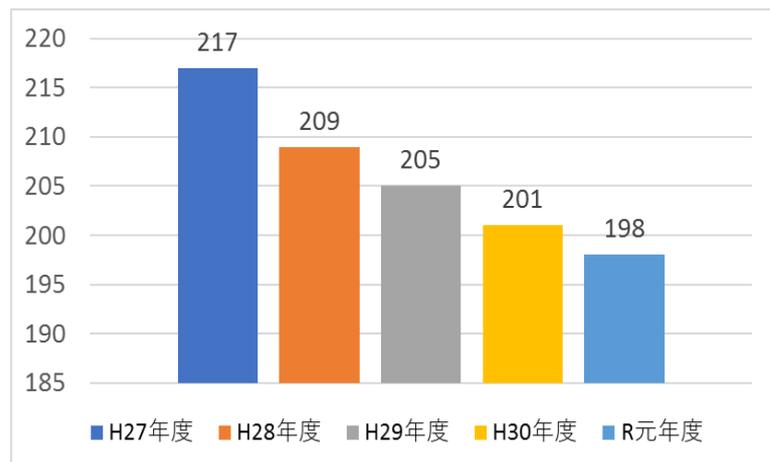
・商業については、人口減少、近隣都市での大規模商業施設の開設や道路網の整備などにより、消費者が減少しています。また、高齢化に伴い、買い物に行くことができない高齢者が増えてきています。加えて、後継者不足も加わり商店数も減少の一途をたどっています。

・工業については、全国的な不況の長期化により製造品出荷額や事業所数の減少が続いており、特に地場産業である木材加工は、木材需要の減少や価格低迷により厳しい状況にあります。

#### 【課題】

・後継者の不足や廃業等により、空き店舗等が増加しています。  
・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、飲食業などでは入客数が減少しています。

■図表 商工業者数の推移(人)



【資料：経済課】

### 施策がめざす 将来の姿

- 新規起業者への支援策などによって、事業の担い手が確保されています。
- 暮らしを支える事業が継続されています。

## 目標値

施策の目標指標	現状値		目標値
	2014 (平成26)年度	2019 (令和元)年度	2025 (令和7)年度
町内事業所数	230	198	167

※目標値は平成30年度の過去3か年の平均増減率を元に、施策効果を見込んで算出しており、第2期総合戦略と同様の算出方法となっています。

## 個別施策

### 1 事業存続と起業等に対する対策

町で暮らしていくためには、商工業が続いていることは非常に重要です。事業存続のため、事業継続を希望する事業者の洗い出しや、事業を引き継ぐことを希望する人とのマッチングの他、相談体制等を構築します。

現在実施している移動販売事業は、事業者存続に向けた取組であると同時に、町での暮らしを支える取組でもあります。引き続き効果的なものとなるよう、改善を重ねながら取り組んでいきます。

令和元年度に実施した町内事業者調査では、回答事業者の約半数が4人以下の小規模事業者でした。こうした家族経営等による小規模事業者の暮らしと事業継続を支えるという視点での、暮らしのセーフティネットの構築も必要です。

また、多業・副業といった多様な働き方や暮らし方をしたい人、起業で稼ぐことを目指す人等、それぞれに応じた支援を町民や関係機関、行政が連携して行います。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成26年度)	(令和元年度)	(令和7年度)
新たな起業者数 (人)	4	5	3

具体的な事業の例	主体
既存事業者の事業継続等を支援するため、商工会による町内消費促進事業への補助や、小規模事業者が必要とする資金を低金利で融資する仕組みの実施	町・商工会
移動販売事業の改善	事業者・商工会・町
事業継承に必要な相談体制の整備 (ビジネスマッチング、中小企業診断士への相談)	町・商工会 ・豊川信用金庫
起業に関する支援制度等の情報提供	
小規模事業者の暮らしを支える介護等のあり方の検討、仕組みづくり	町・関係機関
東栄町役場による町民への職業紹介、あっせんの実施	町
地域おこし協力隊等へのサポートや起業者育成制度の活用	町・県

## 2 事業のステップアップ強化

商工会等と連携し、地域課題に取り組むコミュニティビジネスやソーシャルビジネス等の新しい働き方の導入を目指す事業者、また、事業規模拡大等を考えている成長意欲のある事業者を対象に、専門家による相談会や各種研修会を実施します。

また、観光分野との連携も非常に重要です。観光まちづくり協会等とも連携しながら、それぞれの事業者が継続的に利益を出すことを目指します。そのために、個々の事業者が主体的につながり、たくさんの挑戦を繰り返す中で、個々の事業者に合う連携や事業スタイルを見つられるようにします。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
事業者同士の連携件数（件） （観光まちづくり協会把握分）	—	1	22

具体的な事業の例	主体
資金の一部支援、借入金の利息分の補助	町・商工会
先端設備等導入支援事業	町
田口高校の魅力化事業（お仕事フェアへの参加）	町・事業者・中学校
ビューティーツーリズム等を通じた事業者同士の連携	観光まちづくり協会・ 事業者・町民

## 3 商工会の体制強化

商工会は産業振興の総合的な実施機関として重要な役割を担っています。引き続き、中小企業の経営の安定化や合理化、新規事業開拓などの経営革新を進める等、商工会の体制強化を行います。

具体的な事業の例	主体
中小企業の経営の安定化等に取り組む商工会への補助	町・商工会

### 関係する計画等

- 東栄町山村振興計画

## 基本目標5 活力のあるまちづくり



### 現状と課題

#### 【現状】

- ・ 議会、区長、各種関係団体で構成されていた東栄町観光推進協議会に代わり、平成 29 年度に、地域、事業者、町民が一体となり観光を切り口にまちを盛り上げることを目的に「東栄町観光まちづくり協会」が設立されました。
- ・ 町では全国的にも珍しい高品位のセリサイト（ファンデーションの原料となる鉱物）が採掘されます。協会では採掘及び精製販売を行っている事業者と連携し、手作りファンデーション体験教室「naori」<sup>12</sup>を行っています。この「naori」をはじめ、「美」に関する「食事」「食材」「温泉」「健康づくり（体験）」など、町にある産業・素材等を組み合わせ、「美しくなること」をテーマとした体験プログラムの提供を「ビューティーツーリズム」<sup>13</sup>と呼び、運営体制構築に取り組んでいます。
- ・ 変化に富んだ自然環境で育まれた振草川の鮎は、「清流めぐり利き鮎会」で平成 29 年度にグランプリを受賞し、振草川漁協、事業者が主体となり「振草川の鮎」の商標登録、ブランド化が進められています。
- ・ 町の主要観光拠点である、日帰り温泉施設「とうえい温泉花まつりの湯」は東三河地区だけでなく、三遠南信自動車道、新東名高速道路の開通により静岡県西部、尾張地区からの来訪者も増えており、令和元年に観光まちづくり協会により観光案内所が設置されました。近年、設備の老朽化が進んでいることから、今後の計画的な設備更新による施設維持とあわせて、「ビューティーツーリズム」の拠点としての準備・検討が進んでいます。

<sup>12</sup> 「naori」、

<sup>13</sup> 「ビューティーツーリズム」は東栄町の登録商標です。

## 【課題】

- ・令和2年は新型コロナウイルスの影響により、「とうえい温泉花まつりの湯」をはじめとする観光施設が休業を余儀なくされ、観光客数が大幅に減少し、飲食店をはじめとする町内の事業者には大きな打撃を与えました。
- ・東栄ドーム等を会場に、「日本チェーンソーアート競技大会」「東栄フェスティバル」などのイベントを行っていますが、他の観光施設、店舗等への経済循環が少ないため、利益を生むイベントへの転換、実施の見直しが求められています。
- ・小規模事業者が多く、観光産業の担い手が少ない当町では、観光産業等の人材不足、団体客の受入が難しい等の課題が生じています。

## 施策がめざす 将来の姿

- 地域資源をテーマにした体験メニュー等により、誘客促進が図られています。
- 地域製品のブランド化など、町の魅力を知ってもらうためのコンテンツが充実しています。
- 事業者同士の連携イベントなどにより、事業者には利益が生まれています。町民所得が向上しています。

### ■ 図表 観光まちづくりの基本概念

【資料：振興課】

1つの事業単位でも3つのセクションを意識して、コーディネート（座組み、進行管理）する。



## 目標値

施策の目標指標	現状値		目標値
	2014 (平成 26)年度	2019 (令和元)年度	2025 (令和 7)年度
年間観光入込客数 (人)	205,316	199,414	210,000

## 個別施策

### 1 地域資源を活用した利益を生み出す仕組みづくり

ビューティーツーリズムをはじめとする町の資源をテーマに、共通のストーリーを共有し、それぞれの事業者が継続的に利益を出すことを目指します。

あわせて、こうした取組を下支えする観光まちづくり協会の体制強化を図ります。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成 26 年度)	(令和元年度)	(令和 7 年度)
ビューティーツーリズム参画 コンテンツ(コンテンツ数)	—	1	20

具体的な事業の例	主体
地域資源を共通のテーマとした連携によるビューティーツーリズムの推進	観光まちづくり協会・事業者・町民
観光まちづくり協会の体制強化	観光まちづくり協会・会員・町

### 2 集客のための素材づくり

平成 29 年度にグランプリを受賞した「振草川の鮎」の他、従来からある地域商品の大学連携によるパッケージリニューアルや内容の見直し、大都市圏で開催されるマルシェイベントへの出展・出品など、地域商品の磨き上げやブランド化に向けた取組が進んでおり、今後も関係者と連携して取組を強化します。

また、観光まちづくり協会が運営するオンラインショップは、新型コロナウイルスの影響により商品の売り先が限られた事業者の支援につながりました。今後も「リモート観光(訪れる前の観光)」として、東栄町の魅力・商品に触れることができるよう、オンラインショップの充実を図ります。

重要業績指標 (KPI)	現状値		目標値
	(平成 26 年度)	(令和元年度)	(令和 7 年度)
地域商品のブランド化に向けた取組 (取組数)	—	2	10

具体的な事業の例	主体
「振草川の鮎」のブランド化に向けた取組	振草川漁協・事業者
商品のパッケージのリニューアル等、地域商品のブランド化に向けた取組	観光まちづくり協会 ・事業者・大学
オンラインショップの展開・推進	観光まちづくり協会・事業者
特産品開発・販路開拓の推進	町・事業者

### 3 利益を生むイベントへの転換や実施の見直し

既存のイベントの目的やテーマの明確化、差別化、集約化により、参画事業者が利益を生み出すイベントへの転換や実施の見直しを行います。

事業者の連携や地域資源を生かした「まちあるきイベント」等、町に訪れた人がまちなかをぶらぶらと楽しみながら歩くことができ、まちなかに人が訪れたいくなるような仕掛けづくりを行います。

こうした取組は、事業者が利益を得るだけでなく、結果的に町の活性化や暮らしに必要な商工業が続いていくことにもつながります。町民も積極的に参加し、みんなで賑わいのあるまちづくりに取り組みます。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
事業者同士の連携（件） （観光まちづくり協会把握分）	—	1	22

具体的な事業の例	主体
利益を生むイベントへの転換や実施の見直し	町・観光まちづくり協会・ 事業者・町民
地域資源を生かした「まちあるきイベント」等の企画・運営	町・観光まちづくり協会・ 事業者・町民

### 4 観光施設の見直し・整備

町内に人の流れを作るため、観光施設の見直しや看板などの整備を行います。特に、三遠南信自動車道東栄 I C から町内の観光スポットまでの誘導案内看板の整備など、今後の交通網の変化などに合わせた整備を進めます。

あわせて、I C の周辺に地域の情報発信・特産品販売などを行う拠点を整備することについて、検討や研究を引き続き行います。

また、既存施設の活用として、廃校を活用した交流施設「東栄町体験交流館のき山学校」について、これまでの観光・交流拠点としての機能を強化します。さらに、新型コロナウイルスの影響により注目されているリモートワークやワーケーション、サテライトオフィス等の活用の可能性を広げるための整備検討を進めます。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
観光案内表示の改修・設置箇所数（箇所）	—	6	11

具体的な事業の例	主体
観光案内看板の整備・見直し	町・観光まちづくり協会
道の駅を含めた拠点整備検討、研究	町・観光まちづくり協会・商工会・事業者
「東栄町体験交流館のき山学校」の耐震補強、情報基盤整備などによる拠点の機能強化	町・観光まちづくり協会・事業者・町民
まちを自転車で楽しみ経済循環につながる仕組みづくり（バイシクルピット・看板・レンタサイクル等の整備）	
観光スポットの利益者負担による整備の検討	

## 5 観光情報発信の推進

従来から行っている新聞、雑誌、テレビ等のマスメディアへの情報発信とあわせて、町・観光まちづくり協会ホームページや Facebook、Instagram、Twitter をはじめとした SNS を活用した観光情報発信を行うことにより、ターゲットに合わせた情報発信を強化します。

特に SNS を活用した情報発信では、町・観光まちづくり協会独自のアカウントに加え、奥三河観光協議会のアカウントと連携し、効率的な観光 PR につなげます。

あわせて、町の地域資源を生かした観光 PR 動画を作成し、来町のきっかけづくりや、オンラインショップとあわせた「リモート観光（訪れる前の観光）」により今後の来訪につなげます。

重要業績指標（KPI）	現状値		目標値
	（平成 26 年度）	（令和元年度）	（令和 7 年度）
観光まちづくり協会ホームページアクセス数（ページビュー）	—	140,567	300,000

具体的な事業の例	主体
観光情報発信（マスメディアへの発信、HP、SNS）	町・観光まちづくり協会・事業者・町民
観光 PR 動画制作	町・観光まちづくり協会

## 関係する計画等

- 東栄町公共施設等総合管理計画・個別施設計画
- 振草川再生計画
- 東栄町山村振興計画